

科目名	日本語教育の実践Ⅲ(中級・上級指導・概論)1~4
授業の目標・ねらい	中級・上級レベルで求められる日本語能力とは何か、また学習者にどのような言語行動が期待されるのかを、特に CEFR や JLPT の枠組みから理解します。その上で、学習者の特性や学習目的、および四技能の育成目標に着目し、中・上級レベルの教材を複数取り上げて分析・比較します。さらに、授業実践に結びつく活動案(指導案)を設計します。
授業内容・授業方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 中・上級レベルの日本語能力とは?</li> <li>2. 中・上級レベルの「聞く」「話す」指導</li> <li>3. 中・上級レベルの「読む」「書く」指導</li> <li>4. 教材分析と素材の教材化</li> </ol> <p>* 講義と演習(ペアワーク、グループワーク等)を併用します。</p>
予習・復習	授業の終わりに次回の小課題を提示しますので、課題を通して予習・復習をしてください。
使用テキスト	プリントを配布します。
参考書等	授業時に適宜紹介します。
講師	長谷川由香
所属	拓殖大学外国語学部
研究分野	日本語教育、社会言語学
講師紹介	日本語教員養成、会話評価と教育、社会言語学(方言)等に関心を持っています。